

平成16年6月25日
農林中央金庫

機構の一部改正について

当金庫は、経営環境の急速な変化に迅速かつ機動的に対応し、系統信用事業の一層の機能発揮と経営の効率性向上を図るため、本年度より新たな「中期経営計画（平成16～18年度）」に基づく業務展開を行っておりますが、今般、来年4月のペイオフ全面解禁への対応をはじめとした取組みにより、系統信用事業全体の健全性・信頼性を確保するとともに、特に、信農連と当金庫の統合が実現した「統合県域」における業務展開の強化を図るため、次のとおり機構改正を行います。

1 JAバンク統括部の新設

JAバンクシステムの健全性確保に向けた取組強化、JA事務の堅確性向上に向けた対応、「JAバンク中期戦略」の具体的実践にかかる指導・支援への取組強化等の観点から、部門における総括・企画・調整機能を一元化し、新たに「JAバンク統括部」を設置します。

2 JAバンク再編強化部の新設

統合県域における「JAバンク中期戦略」の具体的実践をはじめとする事業戦略企画・サポート、農協系統信用事業における組織整備への取組み、「JAバンク基本方針」に基づくJA等に対する指導への取組強化等の観点から、統合県域運営にかかる総括機能を一元化し、新たに「JAバンク再編強化部」を設置します。

3 JA事業商品部の新設

JAバンクの部門戦略、統合県域の事業戦略に基づき、預り資產業務、貸出業務等個別施策にかかる機能提供を担うセクションとして、新たに「JA事業商品部」を設置します。

4 JA業務改善部の新設

統合県域を中心としたJAの業務効率化・高度化にかかる支援強化を目的とし、新たに「JA業務改善部」を設置します。

5 事務企画部の設置

J Aバンクシステムの健全性・信頼性の維持・強化に必要不可欠となる J Aにおける事務の堅確性向上のための対応強化を目的とし、総合事務部を改組し、「事務企画部」を設置します。

6 システム企画部の体制整備

J A S T E Mシステムをはじめとする系統信用事業にかかるシステムについて総括・企画する機能を一元化することにより、システムの信頼性・安全性・効率性の向上を図ることを目的として、システム企画部に部長代理席を増設します。

7 系統システム運営部の設置

すべての信農連の J A S T E Mシステムへの円滑な移行とその安定稼動ならびに系統決済システムの安定かつ堅実な運営を目的とし、業務開発部を改組し、系統システム運営部を設置します。

8 株式会社債投資部の設置

収益安定化に向けた取組みの一環として、社債と株式両市場の分析ならびにマーケットアクセスにおけるシナジー効果の発揮を目的とし、株式投資部を改組し、株式会社債投資部を設置します。

なお、機構改正の実施時期は、平成 16 年 7 月 1 日を予定しております。

以 上

(照会先)

本件に関するお問合せは以下までご連絡ください。

農林中央金庫 広報部 広報課

TEL.03-3279-0111 (内 2020)

機構改正の概要

J Aバンク統括部

・J Aバンクシステムをはじめとする系統信用事業にかかる総括・企画・調整機能を一元化し、系統信用事業全体の健全性・信頼性の確保に努めます。

J A事業商品部

・領域の事業戦略等を踏まえ、業務機能・商品にかかる企画・開発に専門的に取り組むことにより、組合員をはじめとする利用者のみならず、有効な信頼に応えるべく、有効な金融機能の提供に努めます。

事務企画部

・系統信用事業における事務リスク管理を徹底し、J Aの業務基盤強化に努めます。

システム企画部

・系統信用事業にかかるシステムの企画・開発管理を強化し、より高度な統制に努めます。

J Aバンク再編強化部

・統合県域における「J Aバンク中期戦略」の実践に向けた諸事業戦略をはじめとする諸施策に集中的に取り組むことを通じ、責任ある県域の運営に努めます。

J A業務改善部

・J Aの体制強化を目的として、統合県域を中心としたJ Aの業務効率化・高度化をサポートします。

系統システム運営部

・J A S T E Mシステムならびに系統決済データ通信システムの安定かつ堅実な運営に努め、系統信用事業にかかるシステムの信頼性の維持・確保に努めます。

農林中央金庫

信 連

J A